

## (県協働部署用) 協働事業評価・報告書

事業名	隙間時間活用による高齢者職場還流プログラム推進事業
団体名	特定非営利活動法人 YUVEC
県協働部署名	産業労働局中小企業部中小企業支援課
事業期間	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 5 年 3 月 31 日

## 1 個別事業ごとの実施結果

事業 1	高齢者活用企業ネットワーク構築事業
(1)実績・成果に対する評価 ※実績や成果についてどのように考えているかを記入してください。	研究会を計画通りに行い、解決策の検討を行ったことは実績だが、協定書の目的に記載した「シニア人材と人手不足に悩む中小企業を結びつけて新たな就労モデルを構築する」ことは達成できなかったと考えている。 ネットワーク拡大のために研究会員の加入を目指す以外にも、得た知見を活用して、シニア人材が還流しやすい環境づくり等を独自に見出すことで、今後も中小企業に対する人手不足解消の課題解決に寄与していくことを期待する。
(2)目標の達成状況	ア) この事業の進捗は何%ぐらいですか。 (50%) ※1年間で目標が達成できた場合に「100%」になることを基準に判断してください。 イ) 上記ア)のように判断した理由を記入してください。 計画通りに研究会を行うことはできたが、シニア人材と中小企業を結びつける新たな就労モデルの構築までには至らなかったため。 ウ) この事業の課題と対応策 研究会やシンポジウム、アンケートなどで構築したネットワークを活用した、シニア人材と企業を結びつけるためのスキームは行き詰まっている印象を受ける。

事業 3	職業紹介事業
(1)実績・成果に対する評価 ※実績や成果についてどのように考えているかを記入してください。	求人に対してのマッチング数が少ないため、シニア人材への職業あっせんの方法を検討する必要があると考える。 ネットワーク拡大によって企業からの求人案件数が増えた際に、求職者からのニーズとどのようにマッチングさせていくのか研究会で得た知見も活用して解決していただきたい。
(2)目標の達成状況	ア) この事業の進捗は何%ぐらいですか。 (50%) ※1年間で目標が達成できた場合に「100%」になることを基準に判断してください。 ロ) 上記ア)のように判断した理由を記入してください。 求職者のニーズとのマッチングが不十分であったため。 ウ) この事業の課題と対応策 シニア人材が求める職（ニーズ）と、企業側が求める人材とのミスマッチについて、研究会が得た知見を活用して解決することで、目標達成が可能となると考える。

(注) 個別事業が2つ以上ある場合は、上の表を複写して記入してください。

## 2 協働事業を継続する上での課題とその対応策

本年度において、本事業との協働は終了する。

3 負担金事業終了後の貴課の考え方

負担金事業で得た知見を活かし、引き続きシニア中小企業における人材の活用支援を団体独自でも進めてほしい。

4 協働事業の評価 (はい・いいえ・どちらともいえない、に該当するものを残してください)

1 協働事業の成果		
(1)	協働することで、単独で事業を行うよりも効果やメリットがありましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	事業の受益者の満足を得ることができたと思いますか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(3)	協働事業の成果だと思えることがあれば記入してください。	
	シニア人材とのマッチングと、研究会での知見を得ることができた点。	
2 協働事業の協議の状況		
<企画段階>		
(1)	事業計画や目標の立て方について、県と団体とは事前の調整や協議を十分行いましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	県と団体とは対等な立場で協議を行いましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
<実施段階>		
(3)	意思の疎通を円滑にし、事業の進捗状況を確認するため、県と団体とは節目ごとにメールや電話でのやりとりや定期的な協議を行いましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(4)	相手方のフィールド（団体の事務所・活動現場）に足を運び、団体の置かれている状況や立場についての理解に努めましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(5)	必要な情報を団体と共有することができましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(6)	協議についての課題があると思われる場合は、記入してください。 専門人材を求める企業のニーズはあるが、シニア人材とうまくマッチングする方法を具体化できていないのが現状であるため、効果的な広報ツールや広報手法を検討する必要がある。	

<b>3 協働事業の役割分担</b>		
(1)	団体との役割分担は適切でしたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	協働事業の実施にあたって、あらかじめ定められた役割を果たすことができましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(3)	役割分担についての課題があると思われる場合は、記入してください。 特になし	
<b>4 協働事業全体を通しての評価</b>		
(1)	全体として、県と団体とは対等な立場で協働ができましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	この事業の課題を解決する上で、協働という手法は有効だと思いましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(3)	協働事業全体を通じて気づいた点があれば記入してください。  本事業の課題解決はもちろんだが、県及び団体の本来事業にもメリットがあれば、より効果的に事業が進められるため、意見交換や実施事業説明の場を設け、互いに連携しつつ活動を続けていきたい。	
<b>5 社会的認知の獲得</b>		
(1)	取り組んでいる事業や成果について社会的認知が広がったと思いますか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	(1)で「はい」を選んだ場合、どういう点で社会的認知が広がったと思うか理由を記入してください。  公開シンポジウムや、ホームページでの広報、チラシ作成・配布により認知度が向上したが、新規会員企業の獲得のためには更なる団体の魅力発信が必要である。	
<b>6 新たなネットワークの獲得</b>		
(1)	この事業を実施する上で新たなネットワークをつくる（広げる）必要性がありましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	(1)で「はい」を選んだ場合、ネットワークをつくる（広げる）努力を団体と共に行いましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(3)	(2)で「はい」を選んだ場合、ネットワークをつくる（広げる）ことができましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
<b>7 行政の施策等への影響</b>		
(1)	協働事業の実施により、県職員のボランティア団体等に対する認識の変化や行政の施策等の改善のヒントにつながるようなことがありましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	(1)で「はい」を選んだ場合、具体的に変化や影響があったと思われることがあれば記入してください。 人材確保の選択肢の一つとしてシニア人材の活用が期待できると感じているが、ニーズとのマッチング課題であるため、支援の方法については検討していく必要がある。	
<b>8 費用対効果</b>		
(1)	事業の効果から見て、要したコストは適切だと思いましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	(1)で「いいえ」を選んだ場合、その理由と、今後の対応策を記入してください。	